

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	40320	第二市民会館管理費		予算科目	会計		款	項	目	事業種別	☒ 主な事業	
施策体系	基本施策	12	生涯学習の充実		根拠法令	旭市民会館の設置及び管理に関する条例、条例施行規則							☐ 国土強靱化地域計画	
	施策の展開	24	生涯学習関連施設の充実		戦略事業	125	各施設の整備充実						☐ 新市建設計画	
	施策の展開				戦略事業								☐ 定住自立圏構想	
													☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 55 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与するため、各種主催講座事業の実施及び市民の生涯学習活動の場として提供する。また、当施設の維持管理(旭市保健センター含む)・運営を行う。 ・使用料(時間単価) 第1講習室 500円、第2講習室 300円、第3講習室 300円、料理実習室 400円、軽運動場 600円
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
昭和55年に、旭市働く婦人の家として、女性労働者や勤労者家庭の主婦の生活向上の増進を図ることを目的として、整備された施設であったが、働く婦人の家として一定の役割を果たしたものと考え、さらに広く全地域住民に利用してもらえる施設として社会教育施設に転用することとし、平成25年4月に教育委員会旭第二市民会館となる。	転用前の働く婦人の家は、成人女性を対象にした施設であったが、現在は、第二市民会館として全住民が対象となる社会教育施設になった。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・利用しやすい施設になって良かったと意見あり。(施設利用対象者が成人女性から全住民対象となったため) ・軽運動場の床がきれいになって良かったと意見あり。(平成25年度に耐震補強改修工事で軽運動場の床全面補修を実施)	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1.委託料	4,652	清掃、受付業務、警備、浄化槽維持管理、他業務委託
2.光熱水費	1,716	電気代、水道代、ガス代(旭市保健センター分全て含む)
3.臨時雇賃金	1,802	7,100円/日×5日/週×1人
4.修繕料	2,030	旭第二市民会館・旭市保健センター自動ドア更新工事等
5.その他	746	浄化槽汚泥清掃(手数料)、労災等保険料等
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	316	施設使用料

		単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費	1.委託料	千円	4,923	4,926	5,030	4,652	5,090
	2.光熱水費	千円	2,268	2,072	1,671	1,716	1,854
	3.臨時雇賃金	千円	1,625	1,674	1,761	1,802	2,007
	4.修繕料	千円	1,050	2,359	2,008	2,030	600
	5.その他	千円	645	652	671	746	736
事業費計(A)		千円	10,511	11,683	11,141	10,946	10,287
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円	410	374	355	316	324
	5.一般財源	千円	10,101	11,309	10,786	10,630	9,963

前年度増減理由	委託料(警備業務委託)の減
---------	---------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

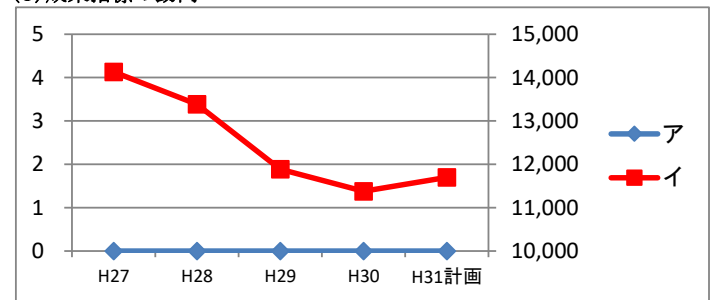
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・施設管理業務(維持管理業務委託、修繕等) 旭第二市民会館・旭市保健センター自動ドア更新工事 旭市保健センター栄養指導室床補修工事 旭第二市民会館・旭市保健センター浄化槽鋼板角型蓋交換工事 旭第二市民会館・旭市保健センター玄関スロフトバルブ補修工事 旭第二市民会館給湯器取替工事	ア 管理業務委託数	業務	10	10	10	10	9
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 修繕工事数	工事	2	3	3	5	1
	対象意図 ・市内に住所又は事務所を有する者 ・利用者が安心して使用できる状態にする。 対象意図	ア 施設維持管理に起因する苦情件数	件	0	0	0	0	0
		イ 延べ利用者数	人	14,133	13,382	11,888	11,379	11,700

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
				⑦
普通				
小さい				

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度	②			
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値減=成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	利用者団体(サークル等)数の減 令和元年度中 旭第二市民会館軽運動場カーテン設備交換工事
今後の方角性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
	随時 施設維持管理に伴う計画的な建築設備等更新及び修繕の実施